

2011 年度 年次総会 記念講演

日本政府の圧力をはね退け 辺野古基地建設許さず！

なかむら ぜんこう

講師；仲村 善幸さん

(沖縄県名護市議会議員・ヘリ基地反対協事務局長)

日時；2011 年 3 月 5 日(土)

時刻；午後 6 時 50 分開場 午後 7 時開始

参加費；500 円

会場；中野区立商工会館 3 階大会議室(ピラ裏面に地図・住所・電話番号あり)

* 記念講演は、会員総会の後行ないます。

会員以外の方どなたでも参加できます。奮ってご参加ください。

仲村善幸さんは、以下のように訴えています。是非仲村さんの訴えを聞こう！

辺野古への基地押し付けに固執する政府・防衛省は、昨年 12 月 24 日付けで、名護市への米軍再編交付金の 09 年繰り越し分(6 事業約 6 億円)と 10 年分の約 9 億 9 千万円を交付しないことを名護市に通知した。しかし交付の前提である環境アセスも白紙に戻さなくてはならないことを北沢防衛相は肝に銘ずるべきだ。また名護市議会では 9 月議会での「米軍普天間飛行場『県内移設の日米合意』の撤回を求める決議(10 月 15 日採択)に引き続き 12 月議会の最終日(22 日)には「仙谷官房長官の『甘受』発言に抗議する意見書」を野党議員の 6 名も含めた 22 名の多数で決議した。辺野古移設反対の声は大きな広がりを見せている。

政府のいかなる圧力・弾圧ももはや通用しない。菅内閣は、辺野古=県内移設は不可能であることを自覚し、基地建設の強行が民主党政権の命取りになることを「覚悟」すべきである。

沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロック

電話；090-3910-4140 Fax；047-364-9632

連絡先；東京都千代田区三崎町 2-2-13-502